

サプライヤー行動規範

世界の繁栄を支援するための 当社の取り組み

カーギルの目的は、安全で、責任のある、持続可能な方法で世界を豊かにすることです。世界の食糧システムを支えるサプライチェーンは持続可能でなければならず、今日のニーズと将来世代のニーズとのバランスをとる必要があることを理解しています。こうした目的は、サプライヤパートナーとの緊密な協業によってのみ達成できます。

当社のサプライヤ行動規範は、サプライヤ、農業従事者、生産者、製造業者、その他のビジネス パートナー (それぞれ「サプライヤパートナー」) が倫理的に、適用される法律を遵守して、その目的を達成するために当社と協力することを当社が期待する方法を説明しています。サプライヤのパートナーを選定し、既存の取引関係を拡大する際には、このサプライヤ行動規範が課す期待を考慮します。



カーギルの基本原則

カーギルの7つの基本原則は、全世界での当社の活動の基盤となるカーギルの全従業員に適用されるものです。これらと同じ原則は、サプライヤ行動規範を通じて、サプライヤのパートナーにも遵守することが求められます。カーギルは、倫理的な行動と誠実さに共同で取り組むことが、共通の価値を創造する信頼できるビジネス関係の強力な基盤になると考えています。このサプライヤ行動規範は、参照することにより、すべてのサプライヤー契約に組み込まれます。

1. 法律の遵守

責任ある企業として法律を遵守する姿勢は、世界中のサプライヤのパートナーにも共有することが求められます。

サプライヤのパートナーには次のことが期待されます。

- 各自およびその事業活動に適用される法律を理解しそれに従うこと。
- 最低限の基準として法的な要件を遵守すること。
- 提供する商品やサービスに関する重要な問題はすべてカーギルに報告すること（特に健康や安全に関する問題）。カーギルがグローバルな規則に遵守するために、こうした情報が役立ちます。

2. 誠実にビジネスを行う

当社は、信頼、透明性、および相互責任に基づいたビジネス関係を求めています。

サプライヤのパートナーには次のことが期待されます。

- カーギルの事業では公正かつ倫理に即して競争すること。
- カーギルの事業に関連して、賄賂やキックバック、不適切な贈答品および、接待その他の不適切なインセンティブは提供も受領もしないこと。
- 当社の従業員との間で、不適切と思われる金銭的な利益またはその他の取り決めに関連する利益相反は避けること。
- 各自のサプライヤーと協力して、このサプライヤー行動規範の原則に従い、適用される法律を遵守したビジネス行動を推進すること。

3.正確で誠実な記録の維持

サプライヤパートナーには、正確で誠実な記録の維持が期待されます。責任あるビジネス上の意思決定を行い、ステークホルダーに正確かつタイムリーな情報を開示するのにこれらの情報が役立ちます。

サプライヤのパートナーには次のことが期待されます。

- すべての取引についての帳簿と記録の管理を正確、誠実かつタイムリーに行うこと。
- 製品、食品、飼料の安全性、労働者の安全衛生、労働および雇用などについて、適切な品質監査およびコンプライアンスのプロセスを適用すること。
- 要請された場合は、施設の場所および原料の生産地に関する既知の情報を開示して、トレーサビリティを可能にすること。

4.業務上の責務の遂行

ビジネス関係の構築という命題を共有できるサプライヤパートナーであるサプライヤのパートナー協業します。これには、誠実な意思疎通、相互の尊重、コミットメントの遂行が要求されます。

サプライヤのパートナーには次のことが期待されます。

- 当社のコミットメントを共有して、ビジネスを誠実かつ透明に遂行すること。
- ビジネスでの義務を遵守し、不測の出来事に対してはタイムリーかつオープンな方法で積極的に管理すること。

5.私たちは尊厳と敬意をもって人と接します

カーギルは、サプライヤのパートナーが以下の原則とデューデリジェンス義務を守ることを期待します。カーギルの人権方針また、カーギルの製品やサービスを提供するために、その才能と勤勉さを発揮しているすべての人々の安全、福利、人権、尊厳を優先することを求めます。

サプライヤのパートナーには次のことが期待されます。

- 人々の健康と安全を守るのと同じ方法で、すべての事業活動を行うことを約束すること。
- カーギルは、労働者が報復、脅迫、嫌がらせを受ける心配がなく、合法的に認められた労働組織を結成したり、それに参加したりする権利を尊重すること。
- すべての労働者に尊厳と敬意をもって接し、精神的・心理的に安全で包括的な職場環境を提供すること。
- 競争力のある、公正かつ公平な給与を提供すること。
- 残業時間を含め、適用される労働時間法を遵守すること。
- あらゆる形態の強制労働を排除するよう行動し、事業およびサプライチェーンから児童労働を根絶するよう取り組むこと。
- すべての人、特に先住民族、地域社会、少数民族の土地資源と所有権を尊重すること。

6.カーギルの情報、資産、利益の保護

カーギルの評判および、当社からサプライヤパートナーに委託された情報や財産については、その保護が求められます。

サプライヤのパートナーには次のことが期待されます。

- 知的財産、取引上の機密、財務情報など、アクセス権が与えられたカーギルの機密情報を保護すること。
- カーギルの管理下にあるすべての財産を保護すること。
- 当社の事業利益や評判に悪影響を及ぼす可能性のある状況を回避し、製品、食品、飼料の安全性を促進するための厳格な基準を維持すること。

7.グローバルシチズンとして責任ある行動をとる

カーギルのサプライヤのパートナーの皆様には、当社の戦略的なサステナビリティのコミットメントを達成し、カーギルの企業デューデリジェンス方針を遵守するようにお願いします。

サプライヤーのパートナーには次のことが期待されます。

- 森林破壊の抑制、温室効果ガス排出量や廃棄物の最小化、資源利用の効率化などを通じて、ビジネスの環境負荷の低減に努めること。
- 事業活動における水使用量の最小化、企業活動に起因した汚染の回避、周辺地域の水資源への影響の低減により、水資源を保護すること。
- 事業が気候、土地、水、土壌、大気、生物多様性に与える影響に取り組み、緩和することを約束すること。
- カーギルは、「ビジネスと人権に関する国連指導原則（UNGPs）」、「国際人権規約」、国際労働機関の「労働における基本的原則および権利」、「多国籍企業向けの OECD 指導原則」などの国際基準や宣言を指針として採用すること。
- 報復を恐れず、内密に懸念を表明するための苦情処理メカニズムへのアクセスを利害関係者に提供すること。
- 要求に応じて、当社のサプライヤー行動規範の要件を遵守している証拠を提出すること。

本サプライヤー行動規範の遵守： 調査と是正措置

このサプライヤー行動規範を遵守する倫理的なサプライヤーやビジネスパートナーと信頼に基づく関係を築くことが当社の目標です。この目標を達成するため、当社はリスクベースのアプローチでサプライヤーのパートナーのトレーニングを行い、本サプライヤー行動規範の要件を遵守している証拠を要求します。サプライヤーのパートナーには、コンプライアンスを確認するためのデータ、情報、証明書、監査へのアクセスに対する当社の合理的な要求に全面的に協力し、自社のビジネスのパートナーや生産者がこれらの原則を守っているという保証を得ることを期待します。

懸念がある場合、またはサプライヤーのパートナーがこのサプライヤー行動規範に違反したことを示す事実気づいた場合、当社の慣行は、これらのインシデントを調査し、懸念に対処するための行動計画を策定するためにサプライヤーのパートナーと協力することです。ただし、調査中、当社はサプライヤーのパートナーとのすべての契約および業務を停止する権利を留保します。問題が改善されないと当社が判断した場合、またはサプライヤーのパートナーが関与または合理的な協力を望まない場合、当社はさらに、当該サプライヤーのパートナーとの契約を解除する権利を留保します。

本サプライヤー行動規範は、カーギルサプライヤーのパートナーとなるために最低限満たさなければならない要件を定めたものです。サプライヤーのパートナーには、これらの最低要件を維持するためのデューデリジェンスと管理システムを導入することを奨励します。当社とサプライヤーパートナーとの緊密な協業関係の確立は、双方の利益となる行為であり、コミュニティや世界の繁栄にも貢献できると信じています。本サプライヤー行動規範は、更新され、<https://www.cargill.com/about/supplier-code-of-conduct> にて一般に公開されたものであり、カーギルサプライヤー行動規範の以前のバージョンを全て置き換えるものです。

懸念事項の報告：苦情処理プロセス

サプライヤー行動規範に違反する可能性がある行動や業務慣行について質問や疑問がある場合は、カーギルに直接ご連絡ください。次のいずれかの方法により、懸念事項を報告できます。

- カーギル担当者に連絡する。または、
- 安全なカーギル倫理オープンラインに連絡する。懸念は、電話またはオンラインレポートによって報告することができます。連絡先およびその他の詳細情報は <https://www.cargill.com/about/ethics-open-line> に、20 か国以上の言語で用意されています。

迅速に当社と連絡を取ることは、問題の事前防止だけでなく、すでに発生した問題の解決にも有用です。報告されたすべての内容は、可能な限り機密性を保持したうえで、迅速かつ公正に処理されます。